

## 「地図の使い方」(ハザードマップ閲覧システム)

### <操作説明>

本機能の操作は以下の手順に従う。

- ① トップ画面の「防災マップを見る」のメニューを選ぶ
  - ② 「利用規約」の確認ページが表示される。
  - ③ 「同意して利用する」を選ぶ。
  - ④ メニュー画面が表示される。
- 表示項目：防災マップのメニューが二つ表示される。それぞれについて「地図から位置を選択」「住所から位置を選択」の二つのモードで地図を開始出来る。
- ・ シナリオ型マップ（地図から位置を選択／住所から位置を選択）
  - ・ 自由選択型マップ（地図から位置を選択／住所から位置を選択）

愛知県防災学習システム

# 防災マップ

地図の使い方

学習システム top へ戻る

こちらの防災マップの各種ハザードデータ(震度、液状化危険度、津波波高、津波浸水深)は、東海・東南海地震連動時における予測値です。実際の地震とは必ずしも一致しない可能性があります。

<h3>シナリオ型マップ</h3> <p><a href="#">地図から位置を選択</a> <a href="#">住所から位置を選択</a></p>	<p>ボタンをクリックしていただいで、適切な順番に災害情報を閲覧することが出来るマップです。表示される地図の解説も表示されるので、<b>防災マップを初めて見る人に向けています。</b></p> <p>シナリオは次のような順番です。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 震度マップを見る</li><li>2. 液状化マップを見る</li><li>3. 現在と過去を比較する</li><li>4. 土地条件図を見る</li><li>5. 土地条件と震度を比較する</li><li>6. 土地条件と液状化を比較する</li><li>7. 建物倒壊シミュレータへ進む</li></ol>
<h3>自由選択型マップ</h3> <p><a href="#">地図から位置を選択</a> <a href="#">住所から位置を選択</a></p>	<p>表示する内容を自由に組み合わせる事が出来るタイプの地図です。<b>地図ホームページの操作に慣れていて、ある程度防災情報に詳しい人向けです。</b></p>

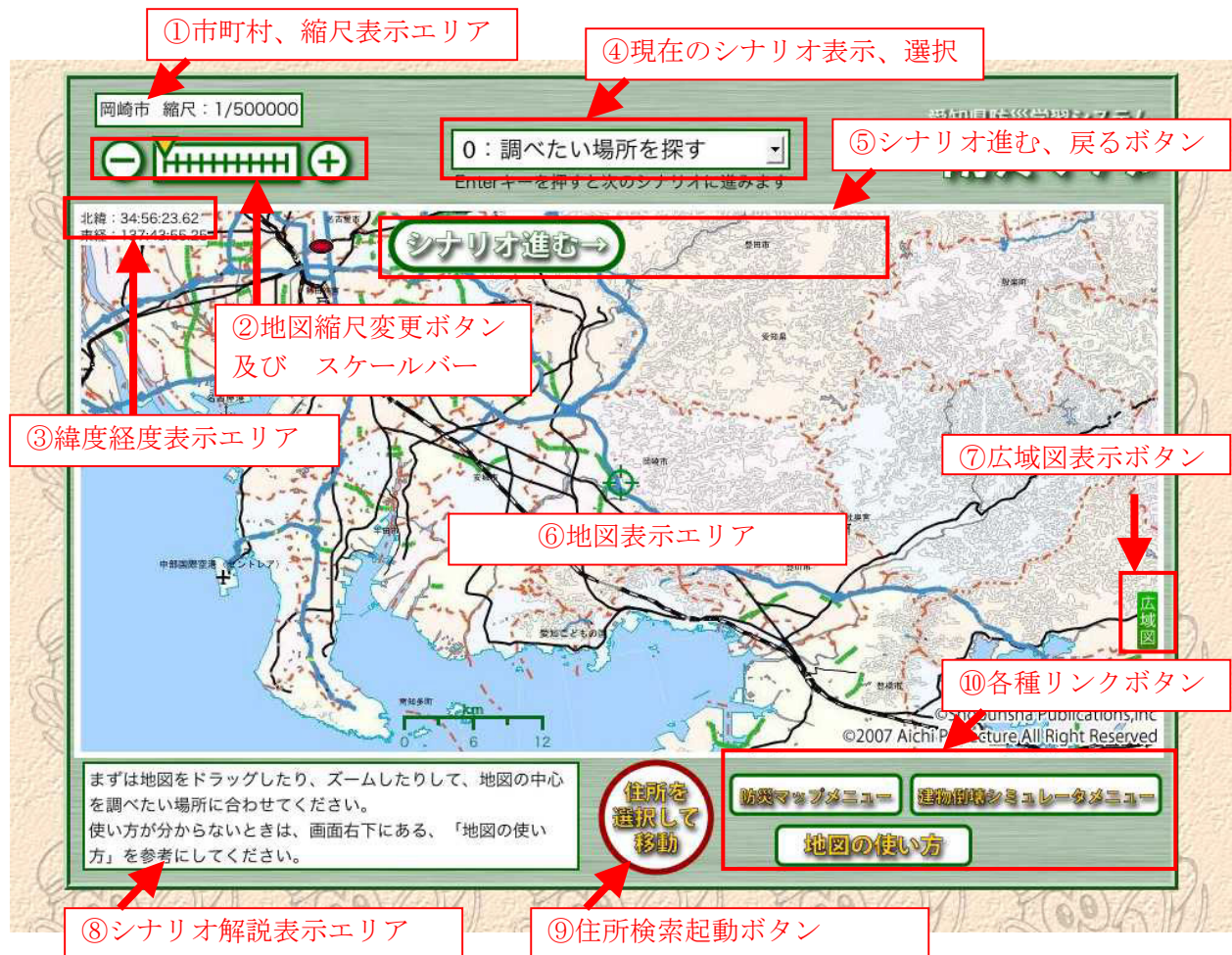
- ⑤ メニューの中からいずれかのモードを選ぶと「ハザードマップ閲覧システム」が起動する。

## 「ハザードマップ閲覧システム」での「地図の使い方」

(本内容は、画面上の「地図の使い方」ヘルプ画面に利用)

### 1. シナリオ型マップ（地図から位置を選択）

シナリオ型マップを「地図から位置を選択」モードで起動した場合の初期画面を示す。



#### ① 市町村、縮尺表示エリア

地図中心点の市町村名、及び現在の地図縮尺を表示する。

#### ② 地図縮尺変更ボタン 及び スケールバー

地図の縮尺を変更する。－（マイナス）のボタンをクリックすると縮尺が一段階小さく（より広い範囲が表示される）なり、＋（プラス）のボタンをクリックすると縮尺が一段階大きく（より狭い範囲を拡大して表示される）なる。

また、スケールバーのカーソル（黄色い下向きの三角画像）をドラッグすることでも、縮尺が変更できる。

縮尺の範囲は 50 万分の 1（最小）から 2500 分の 1（最大）である。

#### ③ 緯度経度表示エリア

マウスカーソルがある位置の緯度経度をリアルタイム表示する。

#### ④現在のシナリオ表示、選択

現在表示中のシナリオ名を表示する。シナリオ名をクリックすると、プルダウン形式でシナリオのリストが表示され、シナリオ名をクリックすることでシナリオを移動できる。

#### ⑤シナリオ進む、戻るボタン

クリックするとそれぞれ、シナリオを一段階進む、戻ることができる。初期状態は一番最初のシナリオなので、戻るボタンは表示されていない。

シナリオを最後まで進めていくと「建物倒壊シミュレータへ進む」ボタンが表示され、クリックすることで建物倒壊シミュレーションを起動する。（このとき開始されるシミュレーションは、地図の中心地点における簡易版システムである。以降の操作は本マニュアル「建物倒壊シミュレータ操作の流れ」の「今すぐシミュレーション」の項を参照のこと）

#### ⑥地図表示エリア

防災マップを表示する。地図をドラッグすることで中心点の移動が、地図をダブルクリックすることで任意地点を中心とした縮尺の拡大ができる。シナリオに応じて、地図上に表示される背景図、及びレイヤ（各種情報）は自動的に変更される。

#### ⑦広域図表示ボタン

クリックすると広域図を表示する。広域図は、愛知県全域における、現在の画面表示領域を示す。広域図内の赤枠が現在の画面表示領域である。赤枠をドラッグすることで、現在の画面表示領域を移動させることも出来る。

#### ⑧シナリオ解説表示エリア

現在のシナリオに応じた解説文を表示する。シナリオに応じて、また、中心点の表示情報に応じて動的に内容が更新される。

#### ⑨住所検索起動ボタン

クリックすると住所検索機能を起動する。住所検索機能の操作方法は、後述の「住所から位置を選択した場合」の項を参照のこと。

#### ⑩各種リンクボタン

ボタン名に応じた、以下の各種リンクを起動する。

- ・ 防災マップメニュー  
クリックすると、地図を終了し防災マップメニュー画面に戻る。
- ・ 建物倒壊シミュレータメニュー  
クリックすると、地図を終了し建物倒壊シミュレータメニュー画面に移動する。
- ・ 地図の使い方  
クリックすると、地図の使い方解説ページ（本書）を表示する。

## 2. 自由選択型マップ（地図から位置を選択）

自由選択型マップを「地図から位置を選択」モードで起動した場合の初期画面を示す。



### ①市町村、縮尺表示エリア

地図中心点の市町村名、及び現在の地図縮尺を表示する。

### ②地図縮尺変更ボタン 及び スケールバー

地図の縮尺を変更する。－（マイナス）のボタンをクリックすると縮尺が一段階小さく（より広い範囲が表示される）なり、＋（プラス）のボタンをクリックすると縮尺が一段階大きく（より狭い範囲を拡大して表示される）なる。

また、スケールバーのカーソル（黄色い下向きの三角画像）をドラッグすることでも、縮尺が変更できる。

縮尺の範囲は50万分の1（最小）から2500分の1（最大）である。

### ③緯度経度表示エリア

マウスカーソルがある位置の緯度経度をリアルタイム表示する。

### ④二画面表示切り替えボタン

⑦の地図表示エリアを一画面・二画面（左右）に切り替える。クリックするたびに、一画面表示状態と二画面表示状態が切り替わる。

#### ⑤二画面地図連動制御ボタン

⑦の地図表示エリアが二画面（左右）表示状態の時に、左右の地図の表示位置を連動させるか否かを選択できる。連動制御がONの状態の時は、左右の地図の表示が常に連動する。初期状態ではON（左右連動）。クリックするたびに、OFF（左右連動しない）とONが切り替わる。

なお、地図の縮尺はこのボタンのON・OFFに関わらず常に左右で連動する。また、レイヤの表示内容はこのボタンのON・OFFに関わらず連動しない。

#### ⑥表示レイヤ選択テーブル

地図に表示するレイヤ（各種情報）の種類を選択する。各レイヤ名の左側にあるチェックボックスをチェックすると、対応したレイヤが表示される。レイヤは複数重ねて表示することが出来る。ただし、背景図は同時に一種類しか選択できない。チェックを外すとレイヤは表示されなくなる。

レイヤはカテゴリ毎に「地震ハザード」「津波ハザード」「防災関連施設」「背景図」に分かれており、カテゴリ名の右にある「閉じる」をクリックすると、カテゴリを閉じることが出来る。また、テーブルのもっとも左下にある「閉じる」をクリックすると、テーブル自体を閉じることが出来る。カテゴリまたはテーブルを閉じると、それまでの「閉じる」表示が「開く」になり、クリックすることでカテゴリまたはテーブルを元のように開くことが出来る。

地図が二画面表示の時は、左右それぞれに表示レイヤ選択テーブルが表示される。

#### ⑦地図表示エリア

防災マップを表示する。地図をドラッグすることで中心点の移動が、地図をダブルクリックすることで任意地点を中心とした縮尺の拡大ができる。シナリオに応じて、地図上に表示される背景図、及びレイヤ（各種情報）は自動的に変更される。

④の二画面表示切り替えボタンをクリックすると、地図が二画面表示（左右）に切り替わる。

#### ⑧広域図表示ボタン

クリックすると広域図を表示する。広域図は、愛知県全域における、現在の画面表示領域を示す。広域図内の赤枠が現在の画面表示領域である。赤枠をドラッグすることで、現在の画面表示領域を移動させることも出来る。

#### ⑨建物倒壊シミュレータ起動ボタン

クリックすると建物倒壊シミュレータを起動する。ボタンの表示名に応じ、地図の中心地点における簡易版システム、あるいは詳細版システムを起動できる。

#### ⑩住所検索起動ボタン

クリックすると住所検索機能を起動する。住所検索機能の操作方法は、後述の「住所から位置を選択した場合」の項を参照のこと。

#### ⑪各種リンクボタン

ボタン名に応じた、以下の各種リンクを起動する。

- ・ 防災マップメニュー

クリックすると、地図を終了し防災マップメニュー画面に戻る。

- ・ 建物倒壊シミュレータメニュー

クリックすると、地図を終了し建物倒壊シミュレータメニュー画面に移動する。

- ・ 地図の使い方

クリックすると、地図の使い方解説ページを表示する。

内容は本マニュアルの本節「地図の使い方」と同様。

「住所から位置を選択」モードで起動した場合

シナリオ型マップまたは自由選択型マップを「住所から位置を選択」モードで起動した場合の初期画面を示す。住所検索起動ボタンをクリックしても同様の表示になる。



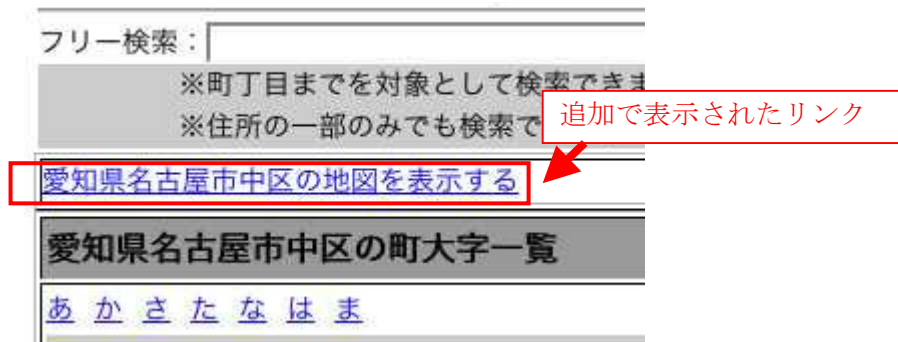
初期状態では、愛知県下の市町村一覧が表示されている。

基本的な使い方は次の通り。

- ・市町村一覧から、目的の住所に相当する市町村を選んでクリックする
- ・選択した市町村の町、大字一覧が表示される。目的の住所に相当するものをクリックする
- ・以下、目的の住所が確定するまで続ける
- ・住所を最後（番地）まで指定すると、住所検索画面が自動的に閉じ、指定した住所の地図画面が表示される。このとき、地図の表示縮尺は自動的に 15000 分の 1 に変更される。

なお、住所を最後（番地）まで指定しなくても、住所検索は可能である。

たとえば、初期画面の市町村一覧から名古屋市中区を選択した場合、②のフリー検索フォームの下に、次のようなリンクが追加で表示される。



このとき、「愛知県名古屋市中区の地図を表示する」をクリックすると、住所検索が自動的に閉じ、名古屋市中区のちょうど中心に相当する地点に地図の表示が移動する。

その他、住所検索の機能は次の通り。

#### ①住所検索制御ボタン

「住所検索トップに戻る」をクリックすると、住所検索の初期状態（愛知県下の市町村一覧が表示された状態）に戻る。住所検索を最初からやり直す場合に使用する。

「住所検索を閉じる」ボタンをクリックすると、住所検索を実行することなく地図画面に戻る。この場合、地図の表示位置は移動しない。

#### ②フリー検索フォーム

検索したい住所を入力し、検索ボタンをクリックすると、入力したキーワードに一致する住所の一覧を表示する。必ずしも住所の全文を入力する必要はない。例えば「三の丸」だけを入力して検索すると、「名古屋市中区三の丸」「名古屋市東区三の丸」の両方が検索結果として表示される。

#### ③50音表示リンク

住所一覧の件数が画面内に収まらない場合、このリンクをクリックすることで、対応した読み仮名の位置まで自動的に画面が移動する。

#### ④コード順表示ボタン

市町村を市町村コード順に並べ替えて一覧表示する。住所検索の初期画面（愛知県下の市町村一覧が表示された状態）でのみ有効。